

心臓財団 季報



公益財団法人

日本心臓財団

〒101-0047 東京都千代田区内神田2-7-10 松楠ビル6階

■Tel : 03-5209-0810 ■Fax : 03-5209-0830 ■e-mail : info@jhf.or.jp ■URL : https://www.jhf.or.jp

No.250 MAR.10, 2023

令和4年度日本心臓財団研究奨励 第36回日本心臓財団・バイエル薬品海外留学助成 助成対象者 発表

日本心臓財団では、循環器領域の研究に携わる少壮研究者を対象に研究助成を実施しています。

本年度は、40歳未満の研究者を対象とする第48回日本心臓財団研究奨励に41名の応募があり、選考の結果、研究奨励10名が選ばれました。

また、拡張型心筋症基礎研究助成は、拡張型心筋症で亡くなられた患者さんのご遺族よりいただいたご寄附をもとに設立されたもので、病態解明、治療開発に役立つ基礎研究に助成するものです。年齢を問わず募集を行い、今回第3回を行い7名の応募者より2名が選ばれました。

助成対象者の氏名と研究テーマを2ページより紹介いたします。

本年度で第36回を数える海外留学助成は、日本循環器学会後援、バイエル薬品会社の協力により行っております。今回は31名の応募者の中から10名の方が助成対象に選ばれました。

助成対象者の氏名と研究テーマを5ページより紹介いたします。

研究奨励、拡張型心筋症基礎研究助成選考委員

(五十音順、敬称略)

委員長	絹川 弘一郎	富山大学医学部第二内科教授
委員	安斉 俊久	北海道大学大学院医学研究院循環器内科教授
	家田 真樹	筑波大学医学医療系循環器内科学教授
	泉 知里	国立循環器病研究センター心臓血管内科部門心不全科部長
	今井 靖	自治医科大学内科学講座循環器内科学部門教授
	小林 欣夫	千葉大学大学院医学研究院循環器内科学教授
	志水 秀行	慶應義塾大学医学部心臓血管外科学教授
	安田 聡	東北大学大学院医学系研究科循環器内科学分野教授
	山口 修	愛媛大学大学院医学系研究科循環器・呼吸器・腎高血圧内科学講座教授
	山本 一博	鳥取大学医学部統合内科医学講座病態情報内科学分野教授

海外留学助成選考委員

(五十音順、敬称略)

委員長	平田 恭信	東京通信病院名誉院長
委員	市田 蒔子	国際医療福祉大学山王病院小児科部長
	一色 高明	上尾中央総合病院心臓血管センター特任副長
	木原 康樹	神戸市立医療センター中央市民病院長
	島本 和明	日本医療大学総長

第48回日本心臓財団研究奨励 対象者 (五十音順・敬称略・奨励金額は各200万円)



石井 正将 (38歳) 熊本大学大学院生命科学研究部循環器内科学 助教

冠動脈閉塞のない虚血性心疾患の冠微小循環の解明と新規の診断・治療標的分子の探索

従来、動脈硬化性プラークによる閉塞性冠動脈疾患が虚血性心疾患の原因と考えられていましたが、近年、MINOCAやINOCAといった冠動脈閉塞のない虚血性心疾患が注目されています。本研究では冠動脈閉塞のない虚血性心疾患の大動脈及び冠静脈洞の血液検体の解析を行い、冠微小循環障害による心筋代謝への影響を評価します。本研究によって非侵襲的な冠微小循環障害の診断法の確立や特異的治療薬の開発につながると考えています。



江本 拓央 (39歳) 神戸大学大学院医学研究科循環器内科学分野 医学研究員

シングルセル解析で解き明かす左房線維化、心房細動発症メカニズム解明

高齢化社会において、心房細動は患者数が増加している疾患であり、脳梗塞や心不全の発症と関連し健康寿命を損なう大きな原因となっている。近年、心房細動の本質的機序として炎症の関与が報告されているため、まず、私たちは胸腔鏡下左心耳切除術の適応となった左心房組織サンプルを用いて、免疫細胞のシングルセル解析を行って、どのような種類の炎症細胞が存在しているのかを明らかにした。本研究では、さらに進んでその炎症がどのように繊維化を誘導しているのかを明らかにしたいと考えている。



候 聡志 (37歳) 東京大学医学部附属病院循環器内科 特任助教

シングルセルマルチオミクス及び細胞形態評価の統合解析に基づく難治性心筋症病態解明

近年シングルセル解析は様々な領域で活用されており、トランスクリプトームのみならず、マルチオミクス解析や空間的遺伝子発現解析といった発展を遂げつつ、我々の分子細胞生物学に対する理解を劇的に深めてきました。本研究プロジェクトでは拡張型心筋症や拡張相肥大型心筋症といった重症心不全を引き起こす心筋症疾患について、モデルマウスや疾患iPSC心筋細胞を用いてシングルセルマルチオミクス解析を行い、病態の理解を目指していきます。



齊藤 慈円 (32歳) 名古屋市立大学心臓血管外科学 研究員

動脈硬化を除菌する - ヘリコバクターシネディ可視化とシネディ関連動脈硬化疾患の提唱

本研究の目的は、全身の血管に生じ、脳梗塞・狭心症・大動脈瘤・下肢閉塞性動脈硬化症などを引き起こす動脈硬化とヘリコバクターシネディ (*H. cinaedi*) という細菌の関係を明らかにすることです。様々な検査方法の中から*H. cinaedi*の感染を評価する検査法を見出した後に、大規模な調査へと移行する予定です。*H. cinaedi*と動脈硬化疾患の関係性を明らかにすることで、将来、除菌療法で動脈硬化が予防できるようになるかも知れません。



白川 公亮 (37歳) 慶應義塾大学医学部循環器内科 助教

オステオポンチン産生マクロファージを標的とした大動脈弁狭窄症治療薬の開発

私は、大動脈弁変性機序の鍵分子である炎症性蛋白オステオポンチンを標的とした免疫学的アプローチにより、大動脈弁狭窄症 (AS) の進行を抑制する薬剤の開発と、大動脈生体弁機能不全を防ぐ新たな治療法を開発を目的に研究しております。オステオポンチンを標的とし、生体弁寿命の向上や自己弁変性を抑制することにより、AS患者の予後や健康寿命の改善を目指しています。

第48回日本心臓財団研究奨励 対象者



藤内 康平 (32歳) 国立循環器病研究センター心臓外科

多血小板血漿による心筋梗塞治療法開発；投与方法の改新による臨床応用展開

心臓を栄養する冠動脈という血管が、血栓により急性閉塞する「急性心筋梗塞」は高い致死率を有し、救命できたとしても心不全に陥り、健康年齢低減の原因になります。本研究は、これに対して心臓外科で行われている、冠動脈バイパス術に併用する新規細胞治療の開発を目指す研究です。ご自身の血小板がもつ組織修復作用に着目し、血小板の心筋への投与方法を改新することで早期の臨床応用を目指します。



長尾 学 (40歳) 神戸大学大学院医学研究科立証検査医学分野 特命助教

野生型トランスサイレチン型心アミロイドーシスの簡易診断法の確立

野生型トランスサイレチン型心アミロイドーシスは、心臓にトランスサイレチン蛋白由来のアミロイドと呼ばれる異常蛋白が沈着することで、心肥大を来し、心不全に至る難病である。従来考えられていたより、多くの患者が潜在することが明らかにされる一方、簡便な検査法は無く、新薬の恩恵を受けるべき患者が見落とされている。本研究は血液を用いた簡易診断法の確立を目指すもので、早期診断が可能となれば、患者の生命予後の改善が期待される。



溝口 高弘 (36歳) 山口大学医学部附属病院心臓血管外科 助教

難治性皮膚潰瘍に対する他家線維芽細胞シートを用いた再生治療

難治性皮膚潰瘍は、閉塞性動脈硬化症や静脈不全など様々な原因で生じますが、原因疾患に対する治療を行っても治癒しない症例です。本研究では、健常人の親知らず抜歯時の歯肉組織から創治癒を促進する線維芽細胞を単離・培養し、その線維芽細胞を独自の方法で積層して作製した他家線維芽細胞シートを難治性皮膚潰瘍患者の患部へ移植し、その安全性を確認するものです。難治性皮膚潰瘍への再生医療を前進させていきたいと考えています。



八木 宏樹 (39歳) 東京大学医学部附属病院循環器内科 助教

キサンチンオキドレダクターゼを標的とした遺伝性大動脈瘤・解離に対する橋渡し研究

マルファン症候群(MFS)は、大動脈瘤・解離による若年の突然死の原因となる難病指定疾患です。MFSモデルマウスを用いた基礎研究で、既存の尿酸降下薬であるキサンチンオキドレダクターゼ阻害剤(フェブキソスタット)に大動脈瘤の進展抑制効果があることを示しました。続いて、MFS患者さんで同様の効果を示すか検証する特定臨床研究を計画しました。この橋渡し研究により、MFS患者さんにおける新たな治療薬が開発され、全国で約2万人近くいる患者さんの予後を向上させる可能性があると考えています。



由良 義充 (40歳) 名古屋大学医学部附属病院循環器内科 病院助教

DNA損傷応答遺伝子の変異によるクローン性造血が心臓血管病に与える影響の解明

クローン性造血と呼ばれる現象は、糖尿病や高血圧と同様に心臓血管病の原因となることが近年明らかになってきました。しかし、その仕組みについてはまだ十分にわかっておりません。本研究では、DNA損傷応答遺伝子の異常に起因するクローン性造血が、心臓血管病を引き起こす仕組みについて、動物・細胞などを用いた基礎的実験によって明らかにし、将来の新しい心臓血管病の診断、治療の開発につなげることを目指しています。

第3回日本心臓財団拡張型心筋症基礎研究助成^{アイ}(I基金) 対象者

(五十音順・敬称略・奨励金額は各200万円)



木岡 秀隆 (47歳) 大阪大学大学院医学系研究科循環器内科学 助教

心筋局所プロテオスタシスの理解に基づく拡張型心筋症発症機序解明

私たちは、患者さんにご協力頂いた研究から、細胞内の局所において、蛋白質の恒常性(プロテオスタシス)が維持できなくなることが、拡張型心筋症の原因となり得ることを明らかにしました。しかし、「なぜ拡張型心筋症になるのか?」という根本的な問いに答えるためには、まだまだ基礎的理解が必要です。心筋局所プロテオスタシスという新概念により分子機序を追究し続け、治療開発という形で患者さんに還元することを目指します。

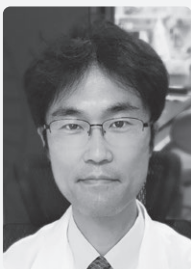


寺本 了太 (43歳) 国立研究開発法人理化学研究所生命医科学研究センター応用ゲノム解析技術研究チーム 基礎科学特別研究員

核ラミナ駆動型転写制御異常による拡張型心筋症発症機序の解明

核膜の構成蛋白質である核ラミナの異常に起因する拡張型心筋症の発症機序についての解明を目指します。拡張型心筋症の患者さんにおいて、核ラミナをコードする遺伝子Lamin A/Cに変異を持つ場合、若年より心臓突然死・重症心不全を来すことが判明しており、その分子病態に基づく創薬シーズが求められています。ゼブラフィッシュを用いた疾患モデルにおける一細胞トランスクリプトーム解析を中心に本研究課題に取り組んで参ります。

第48回 日本心臓財団「佐藤賞」



受賞者

清水 逸平

順天堂大学医学部内科学教室
循環器内科学講座
准教授(臨床)

日本心臓財団佐藤賞は、当財団の故佐藤喜一郎初代会長を記念して設けられました。近年循環器領域で顕著な業績をあげ、今後もこの分野で中心的な役割を果たすことが期待される50歳未満の研究者1名に贈られるものです。

第48回受賞は研究テーマ『老化制御による心不全治療法開発への挑戦』により順天堂大学の清水逸平氏に決定しました。3月11日、第87回日本循環器学会学術集会(会長:筒井裕之 九州大学循環器内科学教授)にて贈呈式が開催され、賞牌ならびに副賞100万円が贈呈されます。

第47回 日本心臓財団「草野賞」



受賞者

木村 俊介

国立循環器病研究センター
脳血管内科

日本心臓財団草野賞は、当財団の故草野義一初代理事長を記念して設けられました。この一年間に脳血管障害に関する学術雑誌に掲載された40歳未満の研究者の優秀な論文に対し贈られるものです。第47回受賞は『脳梗塞発症後早期の直接作用型経口抗凝固薬服用開始:「1-2-3-4日ルール」の提唱』という論文のテーマで国立循環器病研究センター脳血管内科の木村俊介氏に決定いたしました。来る3月18日、第48回日本脳卒中学会総会(会長:木村和美 日本医科大学脳神経内科学教授)にて贈呈式が開催され、賞牌ならびに副賞50万円が贈呈されます。

第36回日本心臓財団・バイエル薬品 海外留学助成対象研究者 (五十音順・敬称略・助成金額は各300万円)



池田 翔大 (35歳)
九州大学大学院・医学系学府循環器内科学 大学院生

カリフォルニア大学ロサンゼルス校(米国)

腎求心性および遠心性神経が心臓の電気生理学的特性に与える影響に関する基礎的研究

私の研究内容は、腎臓から脳に入力する腎求心性神経が、心臓の不整脈器質に与える影響を研究し、自律神経への介入による不整脈治療の可能性を探索するものです。腎求心性神経を介して交感神経(自律神経の一種)の活性化が調整されることは知られており、不整脈への影響も示唆されていますが、詳細なメカニズムについては未解明です。UCLAは自律神経と心疾患の研究に注力しており、今後の新規治療の開発も念頭において研究を進めて参ります。



梅井 正彦 (36歳)
東京大学医学部附属病院循環器内科 特任臨床医

ロイヤルブロンプトン病院(英国)

体心室右室における右心機能保護および増悪因子の探索

私は「成人先天性心疾患」という心臓の構造異常をもって生まれた患者様の専門治療に従事しており、同分野で有名なイギリスのロイヤルブロンプトン病院に留学する機会をいただきました。現地では、研究者としてだけでなく、患者様に接する外来・入院診療にも従事し、成人先天性心疾患の専門診療に磨きをかけて参ります。国際化へ対応できるべく、そして現地で学んだことを今後の日本の医療に還元できるよう尽力したいと考えております。



菊地 進之介 (36歳)
横浜市立大学附属市民総合医療センター心臓血管センター内科 助教

ストラスブール大学(フランス)

構造学的心疾患に対するカテーテル治療と血小板機能検査・抗血栓療法

経カテーテル大動脈弁置換術をはじめ構造的な心疾患に対するカテーテル治療が急速に普及しています。それに伴い循環器疾患に対する抗血栓療法はより複雑になっています。構造的な心疾患に対するカテーテル治療後の血栓療法に関して、マイクロパーティクルと血栓形成能に関連したトランスレーショナルリサーチ、血小板機能検査を用いた臨床研究を行い、より安全で効果的な治療の実現を目指します。



小張 祐介 (35歳)
慶應義塾大学医学部内科学(循環器) 助教

コペンハーゲン大学病院(デンマーク)

経カテーテル大動脈弁置換術後の生体弁血栓が、生体弁の耐久性および予後に与える影響

重症大動脈弁狭窄症に対する治療法として、経カテーテル大動脈弁置換術(TAVR)が世界的に普及し、良好な成績を収めています。しかしTAVR施行後に留置された弁に血栓が付着する生体弁血栓症(HALT)が、生体弁劣化を起こす事象が知られており、人工弁の機能不全、脳梗塞が社会的に与える影響を考えると、その発症機序の解明は急務です。本留学ではこのHALTが生体弁の劣化および予後(死亡・脳梗塞)に与える影響を明らかにする予定です。



佐橋 勇紀 (32歳)
岐阜大学医学部附属病院循環器内科 臨床助教

シダーズ-サイナイ・メディカル・センター(米国)

希少心筋疾患に対する人工知能ガイド下心エコースクリーニングの開発と有用性の検討

留学先では深層学習技術を用いて心臓超音波検査を行った患者様の中から、患者様の予後に関連する希少心筋疾患を早期に検出するプログラムに関する研究を行います。その他にも、先端医療技術の臨床応用を学び、日本の医療現場に、より挑戦的に先端技術の導入を行えるように、研究成果を積みみたいと思います。

第36回日本心臓財団・バイエル薬品 海外留学助成対象研究者



佐村 高明 (38歳)

徳島大学大学院医歯薬学研究所心臓血管外科学分野 助教

スタンフォード大学(米国)

胚盤胞補完法を用いたマウス体内におけるラット心臓の作成

重症心不全は予後不良な疾病である一方で、現在心不全患者数が大幅に増える心不全パンデミックに直面している。このような状況において、心臓再生医療の可能性が見出され開発が続けられています。胚盤胞補完法は機能的な臓器を作成する方法で、今回の研究ではiPS細胞を利用した異種間における胚盤胞補完法によって、モデル動物体内に機能的に正常な異種心臓を作成する方法を確立し、臨床応用につながる技術の獲得を目指します。



島本 恵子 (37歳)

国立循環器病研究センター心臓血管内科部門

ナント大学(フランス)

民族差から探索するQT延長症候群患者の新規心事故リスク要因・リスク層別化指標

遺伝性不整脈疾患で心事故が起きるリスクについて、バイオインフォマティクス解析を用いて分析し、将来的に不整脈を予防する治療につなげる知見を得ることを目標としています。この疾患の患者さんは、若年でも不整脈による失神や心臓突然死を起こすリスクがあります。一方で、特定の遺伝子変異が見つからない場合もあれば、同じ遺伝子変異を有していても、臨床経過が異なる場合もあります。その違いをもたらす要因を、主に遺伝子の領域から探索していきます。



鈴木 孝典 (37歳)

藤田医科大学小児科 助教

トロント小児病院(カナダ)

小児心筋症における病的意義不明の遺伝子バリエーションの再評価

心筋症は未だに原因が不明で有効な治療法がない予後不良な疾患である。小児における心筋症の遺伝子研究により、早期診断、リスク同定、早期介入が可能となるため、生涯にわたり非常に重要である。私は今まで実際、患者さんのベッドサイドで直に経験した臨床経験をもとに、世界の小児循環器医療をリードするトロント小児病院で心筋症の遺伝子の研究を行い、日本の小循環器領域の医療に、ひいては心疾患をもった子供たちの診療に少しでも貢献できるようになりたい。



田所 知命 (36歳)

雪の聖母会 聖マリア病院循環器内科

テキサス大学サウスウェスタンメディカルセンター(米国)

発症および重症化予測遺伝子に着目したドキシルピシン心筋症に対する新規治療法の開発

ドキシルピシンは様々な癌に対して広く使用されている抗癌剤ですが、心毒性の副作用があります。いったん心毒性を生じると予後不良であり癌治療の障害ともなります。しかしながら、そのメカニズムは未だに不明であり、こちらに対する治療法・予防法の開発が望まれています。私が留学させていただく研究室は心筋における遺伝子改編を用いた治療について研究しており、こちらをドキシルピシンによる心毒性に応用することで新規治療法の開発を目指します。



田所 直樹 (35歳)

国立循環器病研究センター 心臓外科

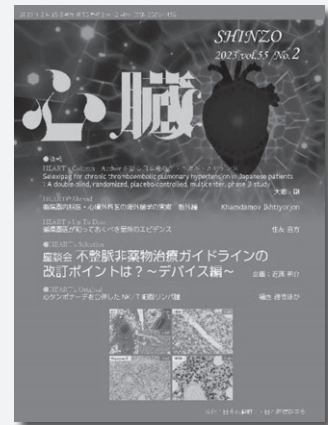
ブリガム・アンド・ウイメンズ病院(米国)

一酸化窒素を活用した膜型人工肺最適化管理に関する基礎検証

ショックとは主要組織への灌流が減少した状態である。重症心原性ショックでは、膜型人工肺を用いた治療が行われているが、末梢血管収縮による組織低灌流の遷延や、高度肺鬱血が合併する場合があります。非常に治療に難渋する。本研究ではECMO回路の膜型人工肺へ酸素と共にNOガスを投与することで送血血液内にNOを溶存させ、直接血管内にNOを供給することによる各臓器の血流改善効果と臓器保護効果の検証を行い、一酸化窒素を活用した膜型人工肺最適化管理に関する基礎検証に取り組む。

第11回「心臓」賞 受賞者

日本心臓財団・日本循環器学会発行和文投稿誌「心臓」において、2022年の1年間に掲載された論文の中から、編集委員、Advisory Boardの先生方による推薦、選考のもとに、編集委員会にて症例部門で最優秀賞1論文と優秀賞3論文、研究部門で最優秀賞1論文と優秀賞3論文が第11回「心臓」賞として選ばれました。



【症例部門】



最優秀賞 (副賞10万円)

賀来 文治

富山赤十字病院
循環器内科

心筋トロポニンTの経時的な評価により、AL心アミロイドーシスに対する治療の有効性をリアルタイムに把握し得た1例

Realtime Monitoring of the Therapy Effects for Light-Chain Cardiac Amyloidosis by Continuous Measurement of Cardiac Troponin T

(心臓 2022;54(1):72-84)



優秀賞 (副賞5万円)

村松 和樹

聖マリアンナ医科大学
循環器内科

僧帽弁閉鎖不全症、大動脈弁狭窄症による重症心不全に合併したHeyde症候群に対して経皮的僧帽弁接合不全修復術、経皮的動脈弁植込み術を施行し改善が得られた1例

A Case of Heyde Syndrome Associated with Aortic Valve Stenosis and Mitral Valve Regurgitation Treated with Transcatheter Mitral Valve Repair (TMVr) and Transcatheter Aortic Valve Implantation (TAVI)

(心臓 2022;54(6):714-719)



優秀賞 (副賞5万円)

中川 博文

昭和大学横浜市北部病院
循環器センター外科

突然死リスクを有する右冠動脈左バルサルバ洞起始症に対し右冠動脈移植術を施行した2症例

Right Coronary Reimplantation for Anomalous Aortic Origin of Right Coronary Artery from Left Sinus of Valsalva; 2 Cases With Risk of Sudden Death

(心臓 2022;54(8):973-981)



優秀賞 (副賞5万円)

中矢 雄一郎

愛媛大学医学部附属病院
総合臨床研修センター

心嚢液セルブロックの作製により診断し得た原発性滲出液リンパ腫様リンパ腫の1例

A Case of Primary Effusion Lymphoma-like Lymphoma Confirmed by Pericardial Fluid Cell Block Preparation

(心臓 2022;54(9):1074-1081)

第11回「心臓」賞 受賞者

【研究部門】



最優秀賞 (副賞10万円)

清原 悠嵩

東京大学医学部医学科/
横浜労災病院

**患者情報から冠攣縮性狭心症を判別する自然言語処理
人工知能モデル**

Natural Language Processing Artificial Intelligence
Model to Distinguish Coronary Spastic Angina by
Medical History

(心臓 2022;54(11):1235-1242)



優秀賞 (副賞5万円)

恒川 裕気

公益社団法人日本海員掖済会
名古屋掖済会病院
リハビリテーション部

**高齢者心不全患者における入院中の介護保険サービス
調整と退院後のイベント発生との関連**

Association Between Coordination of Long-term
Care Insurance Service and Adverse Outcome After
Discharge in Older Patients With Heart Failure

(心臓 2022;54(3):367-376)



優秀賞 (副賞5万円)

田中 智貴

北海道大野記念病院
臨床工学部

**生理食塩水冠動脈内注入法による冠血流予備量比の予測
～ニコランジル負荷FFRと比較して**

Accuracy of Saline-Induced Pd/Pa Ratio in Comparison
to Nicorandil-Induced Fractional Flow Reserve in
Patients With Intermediate Coronary Stenosis

(心臓 2022;54(5):561-567)



優秀賞 (副賞5万円)

松元 一郎

KKR高松病院
心臓血管病センター循環器内科

**冠動脈疾患二次予防における脂質管理 - LDL-window
の有用性**

Usefulness of the LDL-Window for Secondary Prevention
of Coronary Artery Disease

(心臓 2022;54(10):1135-1144)

1969年創刊、循環器領域 唯一の和文投稿誌



毎月15日発売
定価2,200円(税込)

編集委員長
小室 一成 (東京大学大学院医学系研究科 循環器内科学 教授)

【発行】公益財団法人 日本心臓財団 / 一般社団法人 日本循環器学会

【制作・販売】株式会社 日本医学出版

▼ HEART's Selection (特集)

専門性が高く、面白い企画が満載！
最新のテーマを多角的にアプローチ

▼ HEART's Original (投稿)

臨床研究や症例報告などの原著論文
Editorial Comment も充実！

▼ HEART's Up To Date (連載)

「循環器医が知っておくべき最新の
エビデンス」

今、読むべき最新の文献を理由とと
もに厳選してご紹介

▼ HEART's Column (連載)

「Author が語る日本発のクリニカル・
エビデンス:論文の解説と発表後の展望」
研究の背景や思い入れ、苦労話など、生
の声を届けます

▼ HEART@Abroad (不定期連載)

「循環器内科医・心臓外科医の海外留学
の実際」

詳しくはこちらへ▶▶▶

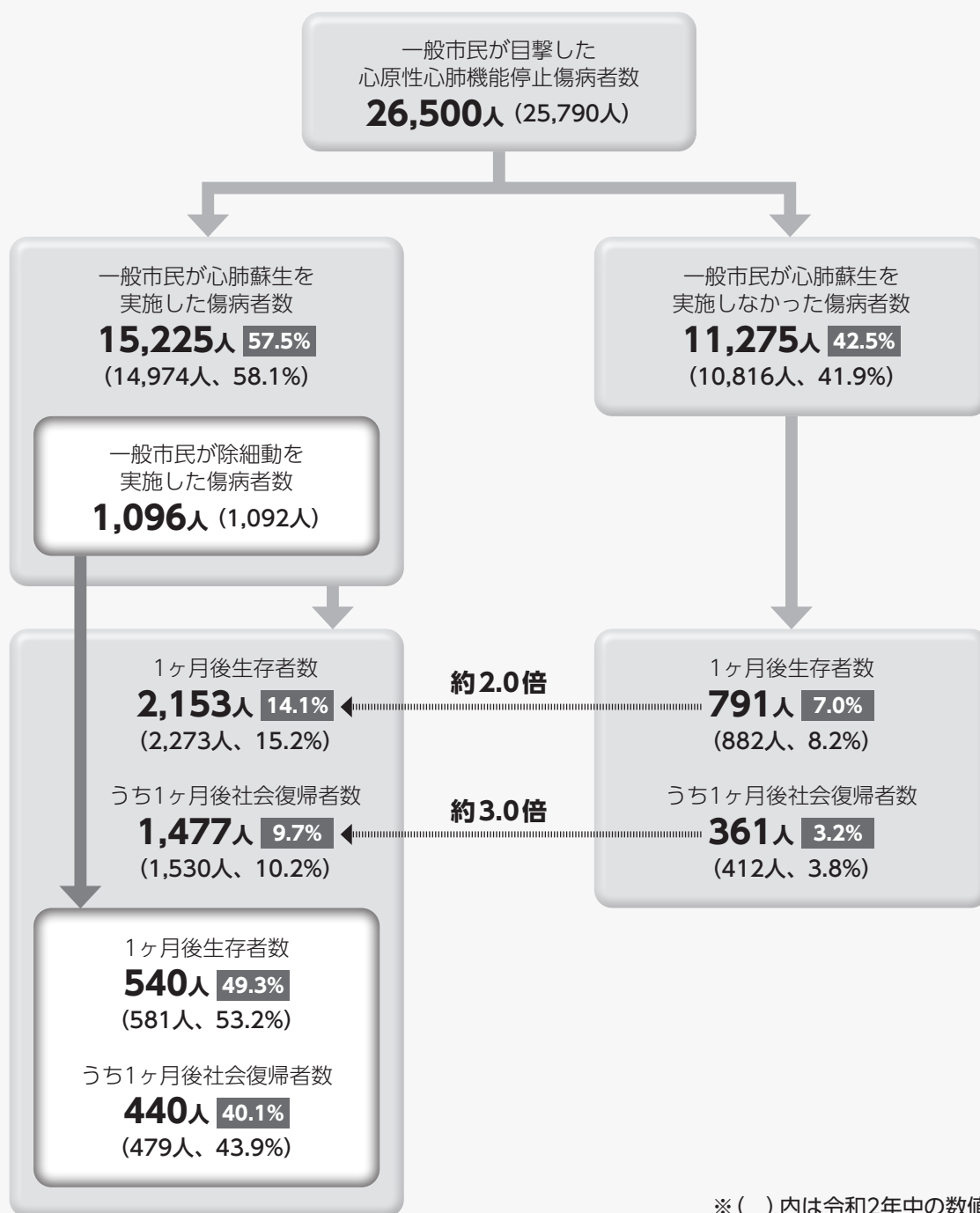
<https://www.jhf.or.jp/pro/shinzo/>



救急・救助の現況と救命アプリのご紹介

2023年1月、総務省消防庁から「令和4年版 救急・救助の現況」(令和3年度中の統計)が公表されました。一般市民による目撃がある心原性心停止(心臓が原因の心停止)26,500人のうち、15,225人(57.5%)に一般市民が心肺蘇生を実施しており、一般市民による心肺蘇生実施率は約6割となっています。しかしながら、一般市民によるAEDでの除細動が行われたのはわずか1,096名(約4%)でした。

一般市民が目撃した心原性心肺機能停止傷病者のうち
一般市民による心肺蘇生等実施の有無別の生存率・社会復帰率(令和3年)



心原性心停止の場合、救急車の到着(全国平均約9.4分)を待っているだけでは1ヶ月後の生存率はわずか7.0%ですが、そこに居合わせた一般の方が心肺蘇生を実施すると1ヶ月後の生存率は約2倍の14.1%になります。さらにAEDによる除細動が行われれば1ヶ月後の生存率はなんと49.3%と、約半数の方が救命され、その8割以上が1ヶ月後の社会復帰が可能になります。

一般市民によるAEDを使用した除細動が少しでも早く実施されることで、まだまだたくさんの命を救える可能性があります。

除細動が行われなかった例には、除細動の適応がなかった場合も含まれますが、その場にAEDがなかった場合も数多くあったと思われます。わが国のAED設置台数は約50万台以上ともいわれ、非常にたくさんの数が設置されていますが、適切な場所に設置されていない、設置場所がわからないということも考えられます。普段からAEDの設置場所を意識することが必要です。

AEDの検索機能やAEDマップ(AED N@VI)など救命サポーターの方々に共有するアプリ「team ASUKA」を日本AED財団が制作しました。

ASUKAとは、2011年さいたま市の小学校で駅伝の練習中に心肺停止となり、亡くなった桐田明日香さんの名前に由来します。明日香さんが倒れた時、学校にAEDがありながら使われませんでした。呼吸があり心停止でないと学校の先生方は判断してしまったのです。その後、さいたま市教育委員会では、判断に迷う場合も胸骨圧迫とAEDを実施するという事故対応マニュアル「ASUKAモデル」を作りました。

そうしたことから、明日香さんが大好きだった家族、友達を救える「明日」、彼女が描いた未来を実現するために、このアプリで結ばれた救命サポーターは「team ASUKA」と名付けられました。

ぜひ、アプリをダウンロードして、救命サポーター登録をして命をつなげるチームの一員になってください。



**team
ASUKA**
救命サポーター

アプリのダウンロードは
こちらから▶



救命サポーター登録をして、命をつなげるチームの一員になろう！

あなたしか救えない大切な命

～君の瞳とともに～ ASUKAモデル編



こちらから動画をご覧ください▶



教室(医局)・病院(医院)・医師会賛助会員の皆様

日本心臓財団と日本循環器学会が共同発行している月刊誌「心臓」の発行と当財団の運営を支えていただいている賛助会員の皆様を感謝の意を表して掲載させていただきます。

教室(医局) 賛助会員

札幌医科大学循環器内科	東邦大学循環器内科	京都府立医科大学循環器・腎臓内科
北海道大学循環器内科	東邦大学医療センター大橋病院循環器内科	大阪医科薬科大学内科学Ⅲ
弘前大学循環器腎臓内科	日本医科大学循環器内科	大阪大学循環器内科
東北医科薬科大学循環器内科	日本医科大学多摩永山病院循環器内科	大阪大学臨床遺伝子治療学
東北大学循環器内科	日本大学循環器内科	関西医科大学循環器内科
山形大学第一内科	北里大学循環器内科	近畿大学奈良病院循環器内科
筑波大学循環器内科	昭和大学藤が丘病院循環器内科	奈良県立医科大学循環器内科
群馬大学循環器内科	聖マリアンナ医科大学循環器内科	神戸大学循環器内科
千葉大学循環器内科	東海大学循環器内科	神戸大学心臓血管外科
帝京大学ちば総合医療センター循環器内科	横浜市立大学循環器内科	鳥取大学循環器内科
日本医科大学千葉北総病院循環器内科	信州大学循環器内科	広島大学循環器内科
埼玉医科大学国際医療センター心臓内科	新潟大学循環器内科	山口大学器官病態内科学
自治医科大学附属さいたま医療センター循環器内科	金沢医科大学循環器内科	香川大学循環器・腎臓・脳卒中内科
獨協医科大学埼玉医療センター	金沢大学循環器内科	愛媛大学循環器内科
杏林大学循環器内科	金沢大学心臓血管外科	徳島大学循環器内科
慶應義塾大学循環器内科	富山大学第二内科	高知大学老年病・循環器内科
順天堂大学循環器内科	福井大学循環器内科学	九州大学循環器内科
帝京大学循環器内科	順天堂大学医学部附属静岡病院	久留米大学心臓血管外科
東海大学医学部附属八王子病院	浜松医科大学循環器内科	福岡大学心臓血管内科
東京医科歯科大学循環器内科	名古屋市立大学循環器内科	佐賀大学循環器内科
東京医科大学循環器内科	名古屋大学循環器内科	長崎大学循環器内科
東京医科大学八王子医療センター循環器内科	藤田医科大学循環器内科	大分大学循環器内科
東京慈恵会医科大学循環器内科	滋賀医科大学呼吸循環器内科	熊本大学循環器内科
東京慈恵会医科大学葛飾医療センター循環器内科	三重大学循環器内科	宮崎大学循環器内科
東京大学循環器内科	京都大学循環器内科	鹿児島大学心臓血管内科

病院(医院) 賛助会員

旭川リハビリテーション病院	東大和病院	県立広島病院
木原循環器科内科医院	武蔵野赤十字病院	東広島医療センター
札幌中央病院	小田原循環器病院	済生会広島病院
札幌心臓血管クリニック	横浜栄共済病院	福山循環器病院
札幌東徳洲会病院	横浜南共済病院	さくらぎ循環器・内科クリニック
北海道大野記念病院	済生会横浜市南部病院	美祢市立病院
北海道社会事業協会帯広病院	抱生会丸の内病院	済生会今治病院
本荘第一病院	金沢医療センター	今治第一病院
仙台厚生病院	済生会富山病院	喜多医師会病院
仙台循環器病センター	富山赤十字病院	市立宇和島病院
三友堂病院	市立湖西病院	近森会近森病院
大原綜合病院	聖隷浜松病院	春陽会うえむら病院
福島赤十字病院	トヨタ記念病院	新小文字病院
高安内科循環器科	澄心会名古屋ハートセンター	杉循環器内科病院
国際医療福祉大学病院	藤田医科大学ばんだね病院	福岡記念病院
新小山市民病院	岐阜県総合医療センター	福岡新水巻病院
慶友会慶友整形外科病院	澄心会岐阜ハートセンター	福岡青洲会病院
博仁会第一病院	慈朋会澤田病院	済生会福岡総合病院
千栄会高瀬クリニック	松波綜合病院	ヨコクラ病院
鶴谷病院	近江八幡市立総合医療センター	大分岡病院
輝城会沼田脳神経外科循環器科病院	伊勢赤十字病院	済生会熊本病院
蜂谷病院	宇治病院	都市市郡医師会病院
東葛病院	京都桂病院	青仁会池田病院
かわぐち心臓呼吸器病院	ゆやまクリニック	鹿児島市医師会病院
関越病院	小松病院	鹿児島生協病院
北里大学メディカルセンター	みどり病院	翔南会翔南病院
埼玉県立循環器・呼吸器病センター	毅峰会吉田病院	かりゆし会ハートライフ病院
さいたま市民医療センター	高清水高井病院	
深谷赤十字病院	健生会土庫病院	
板橋中央綜合病院	公立那賀病院	
江戸川病院	新宮市立医療センター	
関東中央病院	誠佑記念病院	
榊原記念病院	北播磨総合医療センター	
聖路加国際病院心血管センター	倉敷中央病院	
虎の門病院	しげい病院	
野村病院	JR広島病院	

医師会賛助会員

日本医師会
 東京都医師会
 上尾市医師会
 葛飾区医師会
 藤岡多野医師会
 前橋市医師会

法人賛助会員の皆様

日本心臓財団の事業の維持と発展にご協力いただいております法人賛助会員のご芳名を感謝の意を表して掲載させていただきます。

(五十音順)	興和株式会社	様	日本軽金属株式会社	様
株式会社アクセル	三栄メディス株式会社	様	日本光電工業株式会社	様
旭化成ゾールメディカル株式会社	株式会社ジェイエムエス	様	日本心臓ペースメーカー友の会	様
アステラス製薬株式会社	住友金属鉱山株式会社	様	日本ベーリンガーインゲルハイム株式会社	様
アストラゼネカ株式会社	株式会社SUMCO	様	日本メドトロニック株式会社	様
アボットメディカルジャパン株式会社	株式会社世界貿易センタービルディング	様	日本ライフライン株式会社	様
アムジェン株式会社	ゼリア新薬工業株式会社	様	パイエル薬品株式会社	様
株式会社池野商店	第一三共株式会社	様	ファイザー株式会社	様
有限会社池野ビルメンテナンス	大正製薬株式会社	様	フクダ電子株式会社	様
エドワーズライフサイエンス株式会社	ダイナメックジャパン株式会社	様	ブルーミング中西株式会社	様
オキシゲンアンドパートナーズ株式会社	大日本住友製薬株式会社	様	古河機械金属株式会社	様
小野薬品工業株式会社	中外製薬株式会社	様	ベストセレクション株式会社	様
オムロンヘルスケア株式会社	帝人ファーマ株式会社	様	ボストン・サイエンティフィック	様
株式会社オールリンクス製薬	テルモ株式会社	様	ジャパン株式会社	様
カメラ買取市場	東京海上日動火災保険株式会社	様	三井金属鉱業株式会社	様
カリフォルニアくるみ協会	東邦亜鉛株式会社	様	株式会社三井住友銀行	様
キヤノンメディカルシステムズ株式会社	株式会社東横イン	様	株式会社三菱総合研究所	様
救心製薬株式会社	トーアエイヨー株式会社	様	三菱電線工業株式会社	様
株式会社協和企画	NISSHA株式会社	様	三菱マテリアル株式会社	様
キリンホールディングス株式会社	株式会社日清製粉グループ本社	様	明治安田生命保険相互会社	様
株式会社グロースライフ	日鉄鉱業株式会社	様	持田製薬株式会社	様
ケンツメディコ株式会社	日本アビオメッド株式会社	様	株式会社ヤガミ	様

当財団をご支援くださる方

賛助会員として本年度にご支援をいただいた方々のご芳名を掲載させていただきます。(2022年12月～2023年1月)(五十音順)

一色 高明 様 小口 朝彦 様 佐藤 修 様 高見 和徳 様 他 匿名1名

当財団へご寄附をいただいた方

次の方々からご寄附を賜りました。ご芳名を感謝の意を表して掲載させていただきます。(2022年12月～2023年1月)(五十音順)

梶原 誠 様 加藤たみ枝 様 近藤絵美理 様 高垣能利子 様 粒良 幸正 様 橋崎 正剛 様
日本医科大学武蔵小杉病院 様 花澤 曜幸 様 福田扶佐子 様 向井 伸夫 様 横山 慶 様 若松百合子 様
他 匿名11名

■セカンドオピニオンへのご寄附

武田信一郎 様 中條 玲子 様

■小さなハート基金へのご寄附

匿名1名

ご寄附のお願い

日本心臓財団は、循環器病を克服するため、研究助成、予防啓発、さらに循環器病に関する皆様からのメール相談などを行ってまいりました。今後もこのような活動を継続させていただけますよう、皆様からのご支援をお待ち申し上げております。何卒ご協力賜りますようお願い申し上げます。

当財団は公益財団法人の認定を受けておりますので、当財団へのご寄附は税法上の優遇措置が適用され、所得税(個人)、法人税(法人)の控除が受けられます。

また、税額控除に係る証明を取得しておりますので、個人の方からのご寄附につきましては所得控除と税額控除のいずれか一方を選択いただくことができます。

■三井住友銀行 丸ノ内支店

普通 0801474

■三菱UFJ銀行 丸の内支店

普通 4025878

■ゆうちょ銀行

一般振替口座 00140-3-173597

(ゆうちょ銀行 ○一九(ゼロイチキユウ)店

当座 0173597)

口座名：公益財団法人 日本心臓財団

ザイ)ニホンシンソウザイダン